

# 磐城時報

日刊 二十夕  
編輯 石城郡平町新屋町十四  
印刷 磐城石城郡平町新屋町十四  
電話 磐城石城郡平町新屋町十四  
發行 磐城石城郡平町新屋町十四  
社址 磐城石城郡平町新屋町十四  
電話 磐城石城郡平町新屋町十四  
電話 磐城石城郡平町新屋町十四  
電話 磐城石城郡平町新屋町十四

## 委員の顔觸から見て

### 南町裏説は不利

#### 南町方部實行委員が 十一日町當局に陳情

平町第三小學校新築に關し立町方部と南町方部との間に敷地の争奪戦起り兩方部とも猛烈な運動を開始した事既報の如くであるが、町會議員から擧げられた新築委員中

柏原眞吾、井上茂作、荒川淺次郎、佐藤岩次郎、佐々木龍若

の五氏は立町裏に設置する持論者らしく、之に反して南町裏の主張者は

佐藤芳松、松崎菊三郎、吉田定太郎

の三氏に過ぎず、青沼録太郎、遠藤林松、永山義太郎氏は目下敷地については白紙の態度をとつてゐるが、委員の顔ぶれより見れば南町裏設置側は不利の立場にあり、委員會に於て或は立町裏に決せらるゝやも知れないとして十一日南町方部實行委員は左の如き陳情書を町當局に提出した。

當町逐年の發展膨脹に因る就學兒童の激増に伴ふ第三小學校案が近時着々實現の緒に就かんとしつゝあるは今や向上躍進の途上にある當町の現勢

より觀て寧ろ當然の歸趨なるも夙に茲に鑑みたる町理事者の賢慮明察に俟つにあらざるに到底今日の機運を馴致する能はざる處にして吾人町民たるもの均しく此間善處を愈る事なき町當局の施設經綸に對して多大の尊敬感謝を拂ふ所以也、由來新設學校の位置を相するや適否は一に繋つて將來の子弟教育上其の禍福を支配する重大なる問題にして之が機宜を制するは所謂百年の大計を樹する所以の途に外ならず即ち極めて細心周密なる研究を拂ひ區々たる利害の上に超越し飽まで大局高所より町將來の幸福を目標として進退せざるべからず即ち學校地の選定に當つては兒童通學の便否、保健衛生の關係或は環境の兒童心理に及ぼす影響如何等に關し慎重考慮を拂ひ苟も眼前の買收價格等にのみ没頭拘泥する如き輕忽をゆるさざる緊切の問題なるは並に緊説を要せざる處なり而現時當町東部有志が第三小學校建設地として相したる現場を見るに適々買收價格の幾分低廉なる節あるも屠殺場、遊廓の近接、發電所作業の轟音、同所煤煙の飛散等由記學校建設地として須要條例の殆ど悉くを欠如して吾人の

田町町青年有志は共済共榮を目的として今回町昭和會を組織したが十日午後六時から同町小川成見氏宅に總會を開き役員の選挙を行ひ事業方法につき審議を遂げた。

## 納税申告

### 早く出せ

平町務署で注意  
本年分の第三種所得及び營業純益金額の申告書の提出期限は本月十五日限りで目録の間に追つてゐるが本署までに申告書を提出したものは非常に少く或はその期限を忘れてゐるのではないかと平町務署では各町村に注意喚起の書状を送つたが、三月十五日迄に申告書を提出せざれば第三種所得税、幼老不具廢疾者一人に付百圓つゝの控除を受けざる事

生命保険料二百圓までの控除をうけざる事  
營業收益税、營業用の土地に付納税したる地租を營業收益税額よりの控除をうけざる事  
となり各自の損失となるわけであるから、期限内に申告して貰ひ度い平町務署で語つてゐた

昭和三年三月  
平第三小學校  
南裏敷地決定期成同盟會

## 植田台町昭和會

### 平郵便局の新築は 四月中旬に着工

#### 電話室は四倍に擴張

平郵便局は念々四丁目に移轉する計劃である、現在の電話交換室は單式約十五坪に過ぎないが、新郵便局は電話が、將來平町の發展と共に當然の建物を異にし電話部の復式交換室となるものと見ねばならぬから新電話室は少くとも約四倍の六十坪位は準備して必要あり、全部出來上るのは初秋の候となる模様である。

## 口頭試問のみでなく 筆答も試みる

### 入學者選抜について

#### 木村 磐城女校長談

木村磐城高等女學校校長は來る入學者選抜に關して左の如く語つた。  
入學志願者の審査は來る廿七日から三日間に施行することになつてゐるがまだ具體的方法は決定してない、近く磐城中學と打合せの上採案を定めよう、その採案は二百名の採用に對して昨年よりは、少くないと思ふ、大体五百名位の志願者を一々口頭試問のみで選り通せぬから口頭筆答を幾分加へる考案は小學校長の内申のみですぐらずに全部終りまでやらうと思つてゐる、口頭筆答の方法は五人乃至七人位つゝ適當な數に分けて行けば何等の支障なく仕事も捗り、志願者もまた解らぬ点を應返し易いだらう、試験撤廢の文部

省の趣旨は誠に結構なもので試験は不自然不合理なものに相違ないが抽象的には造作もない同廢止も具體的になると會を開き三年度豫算其他につき審議する。

新川 柳  
新博士母の苦心も記事にされ下廻り筋書にない役で出る苦んだ態が單行本になり一と苦勞して見たい客それ

監督が去ると焚火へ輪を作り新參は焚火へ遠く飯を食ひ附られはクシヤミでとうと見今朝の雪飲仲間から急使が來言譯をする訥辯へ口を添えた土産の包へひかる子供の眼

忍をなす以前に一と度會社と折衝し平町が百年大計樹立の上で最も有利に且つ安全に權利を獲得し合理的解決をなすべしと絶叫したるに對し町當局並に反對議員等は、一營利會社に向つては其影に踏むを欲せずとなし之れを一蹴したのではないか、夫れが今トんな解決をなしたのであらうか、全く呆れて物が言へないではないか。

滿四年間町民を賦がし多額の費用を浪費し血して得たる結果は單に電氣會社の有利のみ歸し半町としては何物も取り得なかつた事は返すくも遺憾の極みであると同時に吾人は町長並に水道委員諸氏の引續辭職を諫言するものである。

大正十三年より五年越しかつた平町の痛とも云はれた水道問題が兎に角曲りなりにも解決した事は一面嬉びさせざるを得ないが、今其内容を見るに吾人は全く啞然たらざるを得ないのである。  
泰山鳴動して鼠一疋と云ふ喩があるが、彼の水道問題も全く之れに均しい感がある、平町は勿論一時は全縣下の耳目を聳動させた大問題であり殊に平町民としては物質上に精神上に多大の犠牲と不安に精られて居たのであるから其解決の一日も早く且つ合理的

## 豫算審議

郡聯合青年  
石城郡聯合青年團では十五日午前十時から磐城中等學校で評議員會を開き三年度豫算其他につき審議する。

## 大瀧發電所問題

### 解決案に對する批判

#### 憂 町の青年

に有利なる結果を齎んで居たのである、然るに這般解決したる條項を討論するに何たることであらう、即ち鼠一疋も捕り得なかつた計りでなく技術的に見るも其拙劣極まり無く殆んど低腦的暴舉たるに至つては評するに言葉なく全く呆れて物が言へないではないか、こんな解決をするなら何ぞを以て町民大會を開いたり大舉して縣廳へ押し掛けたり訴訟などをする必要は無かつたではないか、殊に會で町會に於ては某々町議等が行政訴

### 良徳丸の漁夫二名 船室で窒息死亡

江名町大字江名字北町白土辰吉  
所有沖良船良徳丸漁夫白土辰吉  
郎(四三)坂本龜藏(四一)兩名は  
十日午前五時頃良徳丸の出船準  
のため築港内で作業中雨が降つ  
て来たので船室に入り炭火をお  
こして暖をとつてゐるうち炭酸  
ガスのため窒息死亡してゐたの  
が午前六時頃発見手當を施した  
が蘇生しなかつた。

### 高野氏追善の 素 論 會

平喜多會で  
高野氏追善の素論會  
平喜多會主催高野先生追善素論  
會は十一日午前十時から平町住  
吉屋本店に開かれたが、開會に  
先立ち來會者八十余名は松堂院  
なる高野先生の墓前に参拜し山  
崎與三郎氏の祭文あり、會場  
引あげ左の番組により素論會を  
催したが、當日東京家元から  
後藤徳藏、上野八郎兩氏來平し  
たので同夜午後八時から兩氏の  
歓迎會を催した、素論會の番  
組左の如し。

- ▲竹生島 (シテ野崎滿藏、ワキ  
明智榮司、ツレ上野野輝次)
- ▲田村 (シテ遠藤善太郎、ワキ  
鈴木莊平、ツレ森宗太郎)
- ▲湯谷 (シテ山崎清三、ワキ白  
土喜伯、ツレ佐藤作平、同大  
村一郎)
- ▲百萬 (シテ石川幸太郎、ワキ  
鈴木民治、ツレ酒井徳賢)
- ▲船辨慶 (シテ鈴木宗吉、ワキ  
佐藤芳松、ツレ菅本利雄、子  
方酒井喜七)
- ▲弱法師 (シテ後藤先生、ワキ  
上野先生) 仕舞嵐山上野先生

### 古物商五名 檢舉さる

湯本町古物商佐野良吉(四五)同  
高久田幸太郎(四九)同佐藤喜美  
治(四〇)同永山甚藏(三二)は坪  
井元治(四四)が日立發電所から  
盗んだ電線價格二千圓を情を知  
つて買った事發覺十日盗物故買  
罪として平署に檢舉された。

### 映 畫 界

燃ゆる渦巻 (二)  
そして兩人は目的の京地へ  
急いだ、途中度々危地に陥つ  
たが、其の都度獲面の武士に  
助けられ漸く目的の京地につ  
着直にね綾は乞食姿となつて  
幕吏の目をかすめ近衛公に水  
府公の密書を御手渡しせんご  
した侍君に拒まれた折近衛  
公の姫君の情により公は拜開  
を賜り密使の任を果す事  
出来た、そしてお綾は姫君  
小夜の方の女となつた。  
安養寺の光蓮上人は姫に思ひ  
掛けたが、お綾はね綾に思ひ  
思ひたる時、お綾の九重より賜  
はりし唐土傳來の二つなぎ  
き黄金の環を胸に贈つた。  
事を知り光蓮上人は恩人兵  
衛を妖術を施しお綾に好策を  
施らして近衛家を窮地に陥入  
れんとした。(平館)

**原齒科醫院**  
平町土橋通り  
電話三一三番

**高久病院**  
内科・外科・耳鼻  
咽喉科・花柳病科  
院長 高久 忠  
平町 電話一三五

**外科専門**  
入院隨意  
上田外科醫院  
南町 電話二二九

**腸胃専門**  
内科  
腸十二指  
腸虫病  
婦人病  
皮膚病  
院病村松  
電話七〇

**大和田醫院**  
耳鼻咽喉科  
電話一七〇番

**季節向御料理大勉強**  
愈々公園の節  
松ヶ岡公園池ノ端(電話二二六番)  
廉賣 第一割烹とさきわ  
町

**草野染工場**  
印半天專門  
優秀品の証明  
磐城平町  
電話二四八番

**耳鼻咽喉科専門**  
平町仲田町七一  
移築場所 合津醫院  
電話五五九番

**産婆・看護婦**  
生徒募集  
修業年限 兩科ヲ通ジ一ケ年  
入學希望者ハ無試験  
申込期日 四月八日マデ  
◎詳細ハ當校ニ御問合セ下サイ  
平町南町 平 産婆學校  
校長 清野キヨ  
電話三〇七番

セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス  
磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目  
電話三番

**新學期來る**  
素的に評判の好い瑞西製の學生用堅牢  
確實な時計(學生諸君には特に勉強仕候)  
形十マ一八製西瑞  
入石七側ム一ロク  
五圓五十錢  
製西瑞  
ドンラーリメ  
ルケンア入石五十  
九圓  
〔番九一話電〕目丁三町平  
院病計時谷大

**支那六神丸**  
特約店 平町五丁目 山野邊藥局  
長女靜世儀病氣の處醫藥効  
なく十日午後六時死去致候  
に付此段御通知申上候  
追て葬儀は來る十三日午後二時自宅出  
棺自性院に於て佛式にて相替可申候  
昭和三年三月十一日  
石城那小名濱町  
小野 晋 平  
外親戚一同